

Kandai Style

2018.6・7 Vol.469

関西大学通信

合併号



七夕 星に願いを
～あなたの願いは何ですか～

なぜ外国語を学ぶのか?

みんなで一緒に考えよう。
関大誌上教室

学生の皆さんに、「英語を学ぶ観点からみる英語」と「異文化理解の観点から考える外国語」の二つの視点から、アンケート調査を実施しました。外国語の必要性等に関して、幅広い意見を紹介します。

[アンケート期間] 3月19日～4月20日
[対象] 関大生 [回答者] 385人

Q3 Q2で「ある」と答えた方は、その理由を教えてください。

- ◎ グローバル化の中で、英語を活用することが、日本人にとって求められる要素の一つだと考えるから。(法学部4年次生)
- ◎ グローバル化に適応したいから。(文学部1年次生)
- ◎ 英語を話せることに憧れがあるから。(文学部2年次生)
- ◎ 英語を話せるようになりたいから。(文学部2年次生)
- ◎ 将来、英語を使った仕事をしたいと考えているから。(文学部2年次生)
- ◎ 自分の高校に来た留学生と、英語でうまくコミュニケーションをとれなかったのが、悔しかったから。(文学部2年次生)
- ◎ さまざまな国の人とコミュニケーションがとれるようになりたいから。(経済学部1年次生)
- ◎ いろいろな意味で海外を視野に入れるため。Twitchが3倍楽しめるため。(商学部3年次生)
- ◎ 一番メジャーな言語だから。(社会学部1年次生)
- ◎ 英語を話せることで、自分の行動範囲や思考範囲が広がり、自己成長につながると思うから。(政策創造学部3年次生)
- ◎ 英語を勉強することが好きだから。(外国語学部1年次生)
- ◎ 英語を話せると、世界中の多くの人と話すことができ、自分の意思を伝えることもできるから。(外国語学部1年次生)

- ◎ 英語を話しているときは積極的になれるので、自分を変えるために勉強している。(外国語学部1年次生)
- ◎ 留学を経て外国語学部に入ったため。(外国語学部2年次生)
- ◎ 就職に役立つから。(人間健康学部2年次生)
- ◎ 高校で留学生と触れ合ったり、帰国子女の話の聞いたりして、異なる文化に魅力を感じたから。(総合情報学部1年次生)
- ◎ 世界中のいろいろな人と交流したい。そのために、最低でも英語が話せる必要があると思うから。(総合情報学部2年次生)
- ◎ 英語力を向上させるため。将来、社会でグローバルに活躍したいため。(社会安全学部1年次生)
- ◎ 最近、外国人観光客に、道を聞かれたことがあるから。(システム理工学部1年次生)
- ◎ 将来、航空業界で働きたい。仕事のために英語は必須であるから。(システム理工学部1年次生)
- ◎ 将来、海外の研究者と共に実験を行うため。(化学生命工学部1年次生)
- ◎ 文化の異なる人々と交流することで、異なる価値観や人生観、その他の多くを共有したい。(理工学研究科M1)
- ◎ 幼い頃からずっと学んでいるから。(外国語教育学研究科M1)
- ◎ 義務教育で英語を勉強していた延長線での学習。(外国語教育学研究科D1)

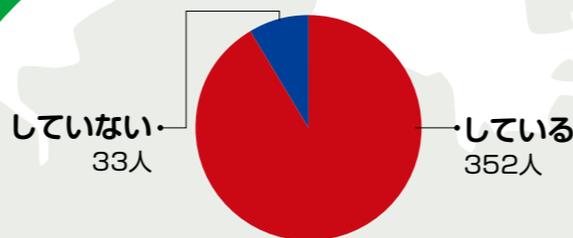


PROFESSOR'S COMMENTS 外国語学部 河原清志教授

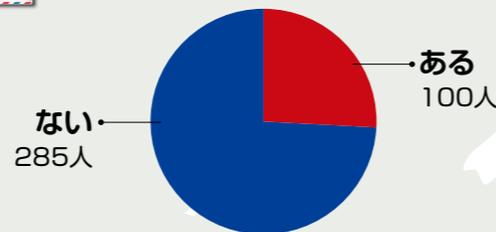
今回の結果は、「英語プラスワン言語」が大切だという意見が多くあったことが顕著でした。総じて、関西大学の学生は英語だけでなく他の外国語を学ぶ価値も高く認め、多様な言語の学習を通して世界の諸地域の文化を学び、自分の知的な世界を広げることに積極的だと言えます。通訳や翻訳が盛んになった今、外国語から日本語に翻訳

されている情報も多く、自動翻訳機もあり、それらに頼っていれば十分だという意見も少し見られました。しかし全体的には、外国語を学ぶことによって自分の経験を豊かにし世界観や価値観を変えたいという意見が多くありました。外国語を学んで自分を向上させる。特に、グローバル化の波で、ITと英語を制する者が世界を制する時代となった今、英語ができると「旅行に役立つ」「カッコいい」「就職に有利」という回答が多かったです。関西大学において英語学習に取り組み、広い世界に出掛け、ぜひとも多様な文化的背景を持つ人たちと接して人生を豊かにしてください。

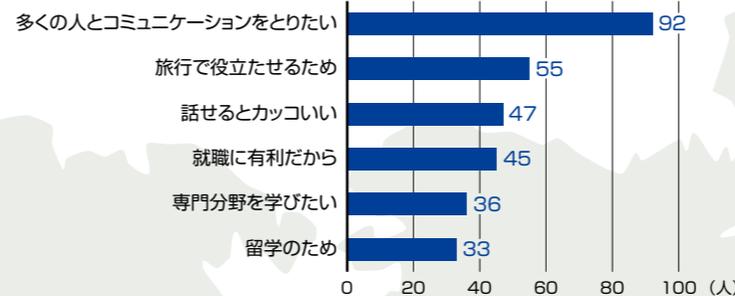
Q1 あなたは第一外国語で英語を履修していますか?



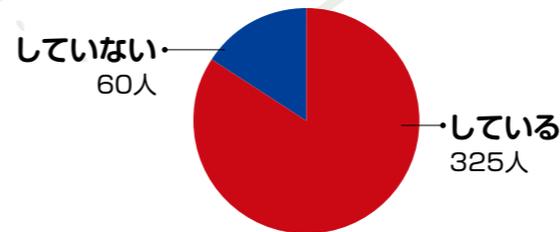
Q2 Q1の答えの特別な理由がありますか?



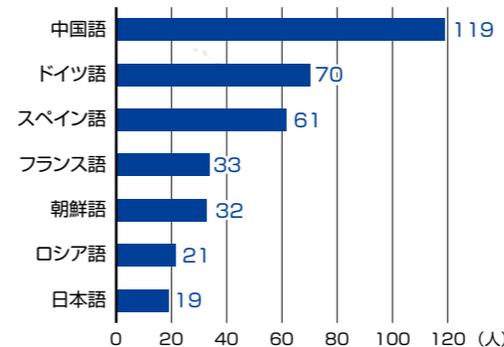
Q4 Q2で「ある」と答えた方にお聞きします。英語を学ぶにあたって、あなたの目的はありますか? 選択肢の中からあてはまるものを全て選んでください。



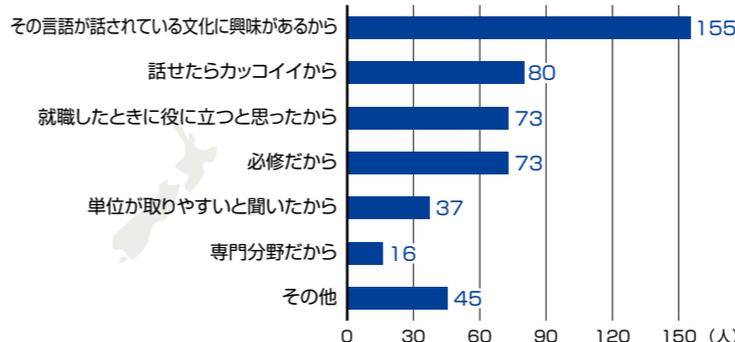
Q6 あなたは英語以外の言語を履修していますか?



Q7 Q6で「している」と答えた方にお聞きします。履修している言語はどれですか? 選択肢の中からあてはまるものを全て選んでください。



Q8 その言語を選択した理由は何ですか? 選択肢の中からあてはまるものを全て選んでください。



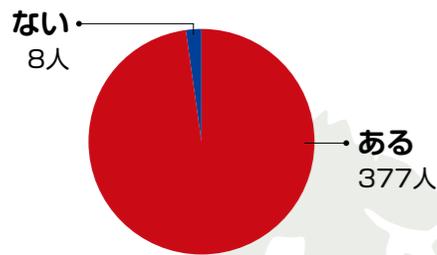
Q5 Q4で答えた目的を達成するために、どの程度の英語力が必要だと考えていますか? 選択肢の中からあてはまるものを1つ選んでください。



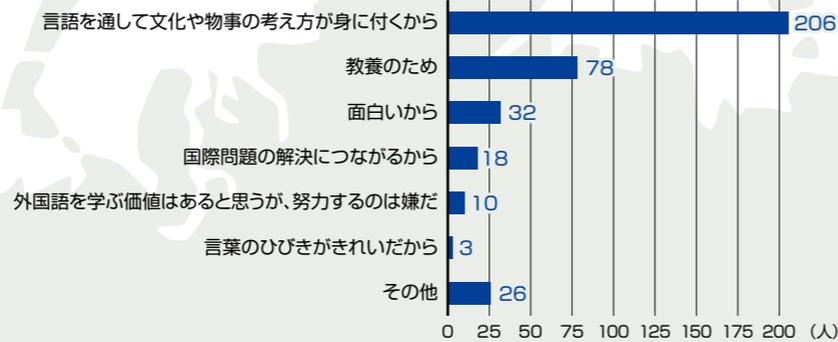
Q9 Q8で「その他」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。

- ◎ フランス語を勉強して、フランスの文化などを知りたいと思ったから。(法学部2年次生)
- ◎ 英語以外の言語を勉強したかったということ、法学部では法律を学ぶ上で役立つと思ったから。(法学部3年次生)
- ◎ 法学部では、ドイツ語がフランス語を必修で学ばなければいけなかったから。(法学部4年次生)
- ◎ 大好きなアニメが中国語で放送されているから。(文学部1年次生)
- ◎ キリスト教徒の友人がいて教会に行きます。そこによく韓国の方が来られていて、話してみたいと思ったから。(文学部1年次生)
- ◎ 高校の先生が英語とドイツ語が話せてカッコイイと思ったから。(文学部2年次生)
- ◎ 心理学を専攻するつもりだったので、その源流だというドイツ圏の言語を習得すると役立つと考えたため。(文学部3年次生)
- ◎ 将来、海外の大学院に行きたいから。(文学部4年次生)
- ◎ 本場の料理を食べてみたいと思ったから。(商学部1年次生)
- ◎ 中国語圏の知り合いがいるため興味を持った。(社会学部1年次生)
- ◎ 中国人観光客の多い地元の宇治で、役に立つのではないかと思ったため。(総合情報学部1年次生)
- ◎ ロシア語を学べる大学や語学教室はほとんどなく、貴重な経験になると思ったから。(総合情報学部1年次生)
- ◎ 世界最大人口を誇る中国の言語を話せることに、将来の可能性を感じたから。(総合情報学部2年次生)
- ◎ 現地の人と会話を楽しみながら食事やお酒を共にしたいから。(総合情報学部2年次生)
- ◎ 生まれがメキシコにもかかわらず、母国語であるスペイン語が話せなかったため。(総合情報学部3年次生)
- ◎ 中国は経済発展が著しく、今後中国語が重要な言語になると考えられるため。(化学生命工学部4年次生)
- ◎ 留学生の友人と中国語で話したいと思ったから。(法学研究科M2)
- ◎ 中国語=漢字が好きだから。(人間健康研究科D2)

Q10 外国語を学ぶ価値はありますか?



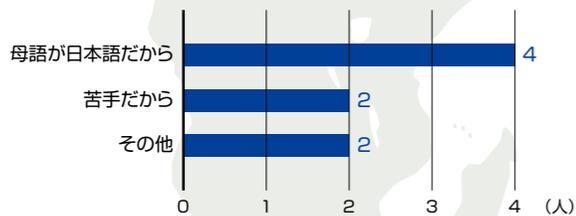
Q11 Q10で「ある」と答えた方にお聞きます。そう思う理由は何ですか? 選択肢の中からあてはまるものを1つ選んでください。



Q12 Q11で「その他」と答えた方にお聞きます。その理由を教えてください。

- ◎ 母語と外国語の違いに気付くことで、話す言葉や普段の思考にも論理性が持てるようになると思うから。(文学部1年次生)
- ◎ 外国の本が読めるから。(文学部1年次生)
- ◎ より多くの人とコミュニケーションをとることができるから。(文学部2年次生)
- ◎ 一つの言語だけだと考えに偏りがでそうだから。(文学部2年次生)
- ◎ アクセス可能な文献の数が格段に増えるから。特に、文系はリサーチ能力が重要なので。(文学部3年次生)
- ◎ 文化の違いが学べて視野が広がり、その国の友人ができるから。(社会学部3年次生)
- ◎ 外国人との会話がスムーズにできるようになり、コミュニケーションの輪が広がるため。(環境都市工学部3年次生)
- ◎ 外国語を学び、習得することで、自分の可能性が広がり、貴重なチャンスを得る可能性があるから。(化学生命工学部3年次生)
- ◎ 世界平和のため。(外国語教育学研究科D1)

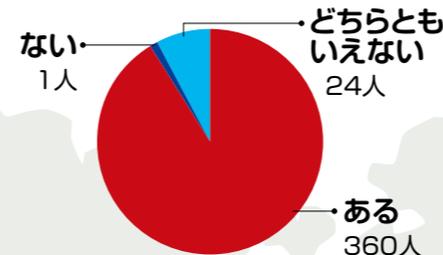
Q13 Q10で「ない」と答えた方にお聞きます。そう思う理由は何ですか? 選択肢の中からあてはまるものを1つ選んでください。



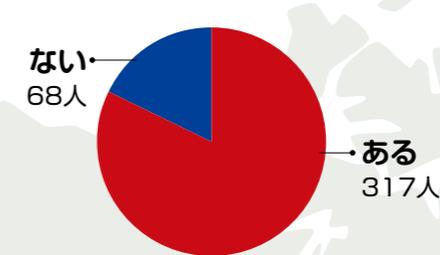
Q14 Q13で「その他」と答えた方にお聞きます。その理由を教えてください。

- ◎ 週2回の授業では身に付かないと思うから。(文学部3年次生)
- ◎ あくまで選択科目にするべきだと思うから。(商学部2年次生)

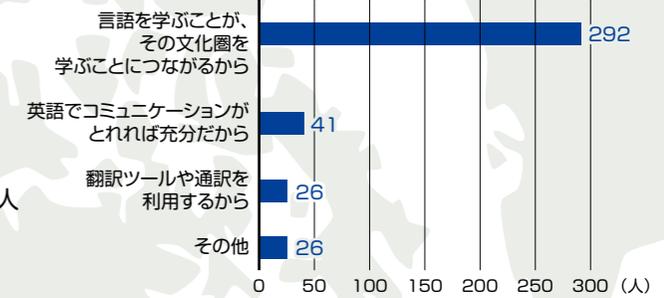
Q15 あなたは外国の文化を学ぶ価値があると思いますか?



Q16 外国の文化を学ぶためには、その国の母語を学ぶ必要があると思いますか?



Q17 Q16の答えの理由であてはまるものを選択肢の中から1つ選んでください。



Q18 Q17で「その他」と答えた方にお聞きます。その理由を教えてください。

- ◎ 言語を学び、実際にその言語圏に行ってみなければ、文化を学んだとは言えないと思うから。(文学部1年次生)
- ◎ 言語を学ぶと、よりその国に対する理解が深まると思うが、必須ではないから。(文学部2年次生)
- ◎ 同じ英語でも文化によって解釈や表現が違うことがあるから。(文学部3年次生)
- ◎ カウンターパートとしての視点も重要なので、まずは文化を学ぼうという興味があればいいと思う。(文学部3年次生)
- ◎ 地域における言語と文化は必ずしもリンクするとは限らないから。(経済学部1年次生)
- ◎ 外国の文化を学ぶにあたって、日本語でその文化を学んでも問題ないから。(経済学部2年次生)
- ◎ その土地の文化はその土地の言葉でないと、本当の理解は難しいと思うから。(商学部1年次生)
- ◎ たと言葉が通じなくても、文化を学ぶ方法はいくらでもあると思うから。(商学部4年次生)
- ◎ なぜ、わざわざ外国語で文化を学ぶのか理解できない。余計な労力を使うし中途半端にしかならないと思うから。(社会学部1年次生)
- ◎ 文化を学ぶだけなら書籍がたくさんあるから。(社会学部1年次生)
- ◎ 母語を学ばなくても外国の文化を学ぶことはできるから。(社会学部4年次生)
- ◎ 日本語で情報を手に入れることができるから。(政策創造学部1年次生)
- ◎ 多くの文化を学ぼうとした時、それぞれの国の言語を学ぶ時間がないため。(外国語学部2年次生)
- ◎ 翻訳には限界があり、言葉に含まれた真意を読み取る必要があると思うから。(人間健康学部4年次生)
- ◎ 言語や文化を学ぶのは良いことだが、文化を学びたいがために言語を学ぶ必要性は感じない。(総合情報学部1年次生)
- ◎ 人とコミュニケーションをとるとその国の文化を感じられる。外国の文化を理解するためには言葉が大切だと思うから。(総合情報学部1年次生)
- ◎ 文化の違いを真の意味で学ぶには、伝聞ではなく自分で実感することが大事だと考えているから。(総合情報学部2年次生)
- ◎ 翻訳は訳者によって解釈が変わるため。(総合情報学部4年次生)
- ◎ その国の特徴が言語にでていると思うから。(システム理工学部1年次生)
- ◎ 日本語が話せなくても、日本好きの外国人はたくさんいるから(言葉が通じなくても文化交流は可能)。(理工学研究科M1)
- ◎ 「外国語を学ぶこと」は、その言語の話者の考え方を学ぶこと。そのため、文化は切り離せない。(外国語教育学研究科D1)

PROFESSOR'S COMMENTS

外国語学部 平嶋里珂教授

しばらく前から、国際共通語である英語の運用能力を高め、グローバル社会で活躍できる人材を育てることが外国語教育の目的として掲げられています。このこと自体はもちろん大切ですが、言葉の持つ文化的側面も忘れてはならないと思います。言葉には使う人たちの思想や文化、広く言えばものの考え方が反映されています。

外国語を学ぶことで既知の文化とは異なる考えを学び、それを通じて、自国の文化や言語に秘められた考え方を客観的・相対的に捉えることが可能になるのです。統一化が進むグローバル社会では、他者の多様性を受容する上で、自己を相対化する能力は大変重要な役割を果たします。そして、文化の相対化が単なるステレオタイプの文化比較にならないためには、2つ以上の外国語を学び複眼的な思考を養うことが有効だと言われています。さまざまな情報が翻訳されてネット上で読める時代ですが、異文化に対する受容性を身につけるトレーニングとして外国語学習に取り組んではいかがでしょうか?

次回のテーマは…「スポーツ倫理について(仮)」

皆さんは、「スポーツ倫理」という言葉を聞いたことがありますか? 次号では、「スポーツ倫理」について具体的なシーンを例に挙げながら、アンケート調査を通して学生の意識を探ります。

6月・7月合併号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「なぜ外国語を学ぶのか?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(7月11日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



流通小売業界／農作物・加工品流通

株式会社GA 代表取締役

福原 悟史さん

近畿大学附属豊岡高等学校出身
2007年工学部卒業

「やりたいことがあるなら行動する」。
起業への原動力は、強い信念とバイタリティー。

福原悟史さんは、兵庫県芦屋市で有機野菜や加工品を販売する株式会社GAを経営しています。大学時代から起業を目指して起業塾に通う傍ら、アパレル企業やカフェなどでさまざまなアルバイトを経験しました。実家が兼業農家だったこともあり、「都会で暮らす人に良い野菜を提供したい」と考えるようになります。福原さんにとって良い野菜とは、「健康的に育ち、鮮度が高く、おいしいもの」。自分が納得できる野菜を追い求め、有機野菜と出合います。

野菜は、有機農法の農家から仕入れました。生産者の畑に通い、農作業を手伝ったり、勉強会に参加したりして、生産方法や商品知識を学びながら信頼関係を築いたそうです。朝採れ野菜を、軽トラックに載せて移動販売。当日の完売を目指して販売場所を移動しましたが、売れ残ることもあり、飲食店に買い取ってもらうなどの工夫をします。移動販売をする中で、食への意識が高いお客さまが多い芦屋で店を持ちたいと思うようになります。

2008年兵庫県芦屋市に「おいしい野菜を日常に」をコンセプトにした販売店「CA」を開店。安心感と応援してもらえる雰囲気を中心に、毎日、道行く人に笑顔で挨拶しました。白いTシャツにギャルソンのエプロンを着け、野菜を木箱にレイアウトしたり、店舗の内装やBGMにこだわったりした結果、「若者がしゃれた露店を開いている」と評判になり、マスコミの取材が増加。次第に客足が増えて、リピーターも定着しました。

ところが、品質を優先して単価を上げたことや移動販売の回数を減らしたことが影響して、一時は売り上げが落ち込みます。悩んだ末に単価を戻し、店舗も開放的な造りに変え、現在では常時40種類の野菜や加工品を販売できるようになりました。「こだわって作った野菜を、良い形でお客さまに届けたい」、店舗では一人一人に丁寧な接客をすると福原さんは話します。内装には大学の図書館で得た建築の知識や、接客ではアルバイトの経験が役立っています。

起業した会社を続ける秘訣を「やりたいことをすること、急成長を目指さないこと、お客さまに喜んでいただきたいという思いを大切にすることです」と福原さん。「学生生活以上に卒業してからの毎日は充実しています。働くなら、やりたいことに時間をかける方が有意義です。やりたいことがあるなら行動してください。そうすれば『類は友を呼ぶ』で、良い仲間が集まってきます。失敗しても、やり直せるバイタリティーと能力を身に付けられればいいのです」と力強く語りました。

ある1日のスケジュール

- 7:00 事務所に出勤
メールチェックと事務処理
- 9:00 社内ミーティング
- 10:00 イベントの打ち合わせ
- 12:00 昼食
- 13:00 クライアント訪問
- 16:00 事務処理や翌日の準備
- 17:00 帰宅



必須アイテムは、ノートパソコンとスマートフォン。メールチェックや商品情報、顧客情報の管理などに欠かせない。



Manager

VIVA!!

学び易



政策創造学部 政策学科

「専門演習1」

橋口勝利 教授

地域の課題を本気で考え、協力して、実行する。 現場の声を聞き、世の中に伝えられる人材を育成しています。

「実践的な政策立案力を育み社会のより良いしくみを生み出す」という政策創造学部の特徴のもと、橋口勝利教授のゼミでは「関西地域経済の活性化に向けた具体的提案と実践」に取り組んでいます。目的は、地域振興や地域創生のために、地域ごとの課題を発見し、具体的な解決策を提案、実施することです。

かねて関西の活力低下に危機感を覚えていた橋口教授。ゼミは、池田市の人口減少地域で行政や学校と連携し地域活性化を図る「池田細郷班」、摂津市の中小企業振興のために企業の魅力を発信する「摂津班」、東京の一極集中を解消するために大阪の課題に取り組む「大阪班」、福島県で被災者が抱える問題を調査し、復興支援活動を伝える「福島班」に分かれています。2011年3月に東日本大震災が発生した際、学部内で「現場に行き、我々にできることをしなければいけない」という声が出ました。とは言え、学生を連れて福島県に向かうことに「正直に言うと迷いがありました。当時は、そこに暮らす人々がとにかく避難しなければいけない状況。私一人で現地に向かおうと考えていました」と振り返る橋口教授。そこに、ゼミ生が橋口教授の元を訪れて、「福島県に行きたい」と申し出たことが「福島班」の活動につながったそうです。この活動は、「学生福島賞2018」として、復興大臣の表彰を受けました。ゼミは、学生主体で行ったフィールドワークの内容を、各班が交互にプレゼンテーションする形で進めます。現地での体験、問題点や成果などを発表し、地域に役立つ施策について意見交換します。橋口教授は、「プレゼンテーションを聞くとときは、疑問を大事にし、自分ならどうするかを考えることで他者の発表の足りない部分があり、踏み込んだ批評ができ、さらに自分の発表にも生かせる」と言います。また、意見を述べる時は、「褒めるだけでなく批判もする」と「他人と違う意見を言う」という二つの約束事があります。批判は相手を良くしようという意思表示であり、他人と違う意見を言うことには、課題についてより深く考える必要があるため、質問に即答できる力が付くからだそうです。「課題を解決するための政策提案力や実行力を養う過程で、人を動かすことを学びます。将来、現場でさまざまな人たちの思いを考えながら社会で役立つ学生を育てることが、政策創造学部の役割につながります」とも続けます。

最後に「人の役に立つために、本気で考え、仲間と協力し、何度も現場に足を運んで多くの人と話してください。その経験から得られた達成感こそが人を成長させ、心からの喜びをもたらします」と締めくくりました。



進藤淳也さん(3年次生)

以前から福島県の復興支援活動に関心があって、橋口ゼミはフィールドワークが中心だと知り選びました。メディアが伝えられないことを実際に体験できたことは、大きな力になりました。班で結束して出した成果を、就職活動にも役立てたいです。



大久保恵子さん(3年次生)

「福島班」のリーダーをしています。橋口ゼミはフィールドワークを中心に活動していると聞き、自分たちで何かを作りあげることに引かれました。卒業後は、医療機器メーカーに就職して、患者さんに本当に必要なものを提供することが目標です。



政策創造学部

橋口勝利 教授

先輩のゼミ生が実施してきた内容を踏襲するのではなく、それを超える提案や活動をしたい、別のプロジェクトを立ち上げたい、という意欲ある学生に参加してほしいと思っています。その提案が誰かの役に立つと判断したら、要望に応えます。このゼミを選んでもくれたら、「厳しかったけれど、力が付いた」という達成感がきっと得られるはずです。



堺キャンパス

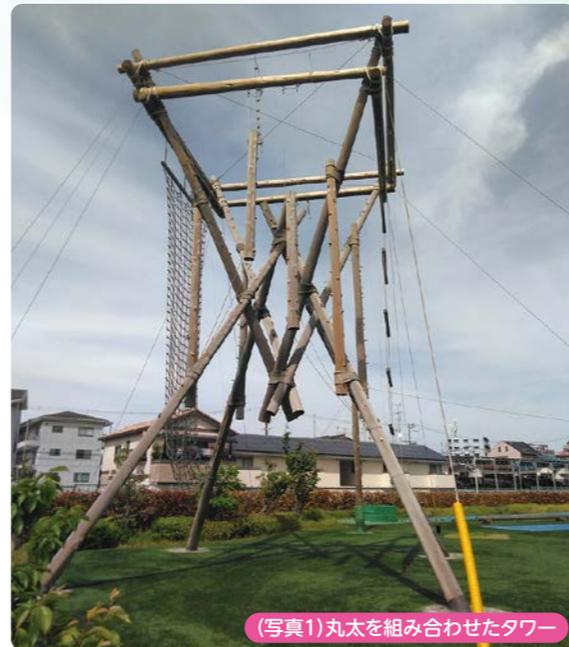
アドベンチャー学習、笑いの講座、奇妙な自動販売機、御茶ノ水博士とアインシュタイン

人間健康学部のある関西大学堺キャンパスは、2010年4月に開設されました。高校として使われていた校舎を大学仕様に改修したもので、ユニークな設備やエピソードがあり、市民に役立つ各種事業も行われています。その一部を紹介します。

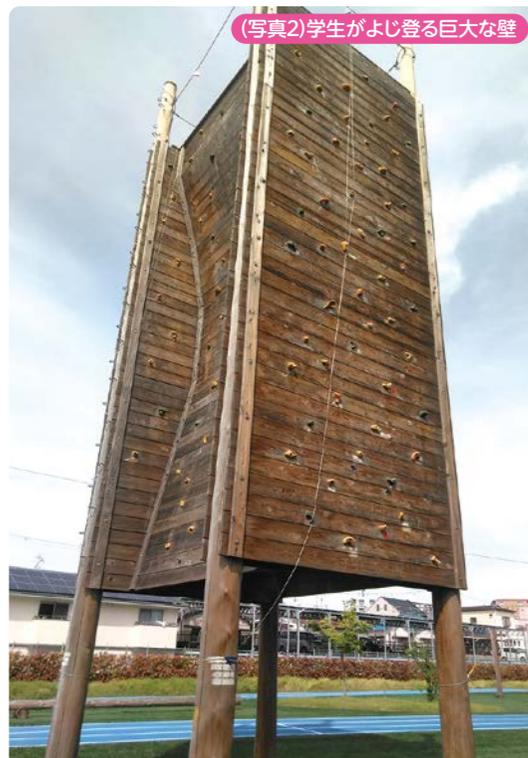
アドベンチャープログラム (AP)

キャンパスには巨大な丸太を組み合わせたタワー(写真1)や2階建ての高さほどある木製の壁(写真2)があります。いずれもアドベンチャープログラム(AP)といわれる体験型学習で使う施設です。「スタディスキルゼミ(学びの技法)」では、このAPを活用した授業を展開。チームでお互いを支え合いながら実績を積み、一方、「調べる、書く、発表する」などの基礎的なスキルをチーム単位で学びます。

こうした施設は日本では関大を含めてわずか5校しか持っていません。施設では高い空間にロープを張り、そこを滑車などで人間が移動することができます。3階建ての教室の窓から見ていると、まるで教室の外で人間が浮遊しているように見え、新入生はたいいてびっくりさせられるそうです。



(写真1)丸太を組み合わせたタワー



(写真2)学生がよじ登る巨大な壁

御茶ノ水博士の「笑い研究」と多彩な地域貢献

堺キャンパスは堺市立商業高等学校、第二商業高等学校跡地を使っているため、地元・堺市の強力なバックアップがありました。そのため開設後、さまざまな地域貢献事業を展開しています。

例えば「楽しいんやさかい 大和川水辺の楽校(がっこう)」。大和川の水辺を子どもたちの遊びの場や自然学習の場として、あるいは市民の憩いの場として利用しようという国土交通省のプロジェクトとしてスタートしました。

現在は、安田忠典教授が協議会会長を務め、各事業に人間健康学部生がボランティアとして参加しています。

2018年は、5月6日に「大和川水辺の楽校まつり」が開催され、水辺の楽校教室、川遊び、模擬店やステージ発表等、盛りだくさんの内容で大いに盛り上がりました。

また市民講座も多彩です。例えば森下伸也教授の「ユーモア講座」は人気講座の一つです。森下教授は古今東西の笑いを研究しており、「笑いの花咲く国へ——笑いの東西文明論序説」という論文では、哲学者ニーチェと日本研究家、小泉八雲に「西洋近代文明に対する深い失望、東洋への強い関心、高い文明のしるしとしての笑い」という共通点があるという意外な視点を示します。

鉄腕アトムの御茶ノ水博士に似たヘアスタイルでサービス精神旺盛です。研究室のドアに貼ったアインシュタインのポスターの横で写真を撮ろうとしたら、世紀の大物理学者と同様にチョロリと舌を出す茶目っ気に脱帽しました。今どきの大学には珍しいタイプで、日本笑い学会の会長でもあります。

最近の「ユーモア講座」では「活弁映画の面白さ」を学んでもらおうと、講座にプロの活弁士を招いて演じてもらうほどの力の入れようで、会場には笑いが絶えません。

自動販売機の気迫とナゾ

正門前に4台の自動販売機があります。これがなかなかのもので、森下教授のサービス精神が乗り移ったかのようです。まず値段が安い。お茶やコーヒーが1本50円から売られています。おまけによく見ると価格欄に小さなPOPが貼られています。「50円コーヒー」には「今だけ!」、「70円グレープフルーツ」は「安すぎ!」、「80円ウーロン茶」は「買いでしょ!」。

さらによく見ると「今だけ!」は気のせいかな、やや古びています。もう何年も「今だけ!」と叫び続けているようで、ここまでくると「自販機の気迫」です。極め付きは「なにがでるかな」に赤い大きな?

マークが付いたラベルの飲料。中身は不明ですが、70円で「安すぎ」というPOP付き。ナゾは深まるばかりですが、これらを設置した業者も茶目っ気十分でサービス精神に富んだ方かもしれません。

なにが出るかな?も70円で「安すぎ」?



「今だけ!」「安すぎ!」「買いでしょ!」などのPOPが示す自販機の気迫



研究室から顔をのぞかせた森下教授は、アインシュタイン顔負けのサービス精神



正門前の4台の自販機



総合情報学部 3年次生

高木 優衣さん

周りの人に支えられ、感謝と思いやりの心を持ち目標に向かって突き進む。

関西大学体育会アイススケート部フィギュア部門に所属する高木優衣さんは、12月に開催される全日本フィギュアスケート選手権大会への出場を目指して練習に励んでいます。出場の条件は、秋から始まる近畿や西日本の選手権大会で好成績を取めること。高校時代は、西日本フィギュアスケート選手権大会にまで出場しましたが、あと一歩及びませんでした。

スケートとの出会いは5歳の時。スケート教室の無料体験に友人と参加したのがきっかけです。自分だけうまく滑れなかった高木さんは、すぐに近所のスケート教室に通い始めます。少しずつ滑れるようになるにつれ、コーチに褒められることがうれしくなり、もっとスケートをがんばろうと思うようになりました。幾つかの教室を経て、8歳から織田信成監督の母、憲子コーチに師事します。

幼少の頃は、一流選手のスケートを見てオリンピックを目指しましたが、大学入学後、世界で活躍する選手と合同で練習するようになって実力の差を感じ始めます。また学業との両立の大変さやけがから、次第に練習時間が減りました。練習不足で体形が変化し、練習しても調子が上がらず、休む。その悪循環から抜け出せず、2年次の夏、織田監督に「今よりうまくいった過去の自分と比べてしまってつらい。これからがんばれる自信もないのでやめたいです」と申し出たところ、「甘えるな。12年も続けてきてやめるなんて、周りの人に感謝の気持ちはないのか」と叱責されます。帰宅後、冷静になると、努力が足りなかった自分に気付くとともに、叱ってくれる人がいることに感謝するべきだと思い直しました。「とにかく一生懸命努力し続ける」と決意した高木さんは、練習を再開。さらにトレーナーの丁寧な指導のおかげで徐々に心身のコンディションが上がり、練習に集中できるようになりました。今年1月の日本学生氷上選手権大会では、シーズンベストを残すことができました。

卒業までに全日本フィギュアスケート選手権大会に出場できる機会はあと2回。「出場したいという気持ちを普段から意識することが大切。上位入賞などの高い目標を掲げると、さらに高度な技術の習得にも挑戦できます」と言う高木さん。学業も、スケートとの両立を意識した時間割を組む工夫をしました。また学生生活は視野を広げる機会と考え、体育会に所属していない友人と交流する時間も大切にしています。友人からは、打ち込めることがあってうらやましいと憧れられるのだとか。友人の言葉から、それまでは当たり前だと思っていた整った練習環境にも感謝の気持ちが芽生え、これまで以上に真剣に練習に取り組むようになったそうです。

「初めてのインカレで、演技後に今までで一番大きな歓声もらったことが一番の思い出」と目を輝かせる高木さん。「自分のために動いてくれる人に感謝する気持ちと、周りの人を思いやる心の大切さを学んでいます」と語る彼女の今後の活躍に期待が膨らみます。



第66回関西学生氷上競技選手権大会で後輩の皆さんと(中央が高木さん)

今回は、高木さんからのご紹介で小坂家菜々子さん(総情4)が登場。お楽しみに！



Yui Takagi

関大トピックス

| 番外編 |

堺キャンパス

第8回 堺キャンパス祭を開催

堺キャンパスで6月3日、人間健康学部祭典実行委員会が主催・運営する第8回堺キャンパス祭を開催しました。今年のテーマ「笑顔満祭！ 人健万祭！～来たらええとこあるさかい～」には、世代を超えた大勢の方に、笑顔で楽しんでもらえるキャン



パス祭にしたいという学生たちの思いが込められています。

当日は、ステージ企画や模擬店のほか、バレーボール、車いすバスケットボール等のスポーツ教室、堺市との地域連携事業の一環として実施する「おふろのスヌメ」など、地域と連携して行う人間健康学部ならではの多彩な催しを実施。キャンパスは、約1,300人の地域住民の方や学生の笑顔で彩られました。

高槻キャンパス

高槻キャンパス祭を開催

5月27日に総合情報学部では、高槻キャンパス祭を開催しました。今年の高槻キャンパス祭のテーマは「High! High! High!」。この“High”には3つの



意味、高槻市の“高”の字を英語にした“High”、標高の高さを示した“High”、来場者のテンションが高くなるようにと願いを込めた“High”があります。

当日は、応援団による演舞演奏やダンスライブ、研究発表などを実施。また、総合情報学部ならではの「ものづくり」体験や、スタジオイベントも開催しました。学生や地域住民の方々約2,500人が来場し大盛況のうちに終わりました。



高槻ミュージックキャンパス

第4回 高槻ミュージックキャンパス祭を開催

高槻ミュージックキャンパスで6月24日、社会安全学部祭典実行委員会が主催・運営する第4回高槻ミュージックキャンパス祭を開催しました。今年のテーマ「防災WORLD2018 ～防災の世界が丸見え～」には、ただ防災について学ぶだけでなく、防災の世界を丸見えにすることで、身近なところから防災に取り組

めることを知ってほしいという思いが込められています。

18日に発生した地震の影響で、当初の予定から開催内容を一部変更し、自治会による炊き出しランチや学生による模擬店、身近なものでできる防災グッズ作り等を実施しました。また、高槻市のゆるキャラ“はにたん”が登場するイベント「テケテケはにたんダンス」では、たくさん子どもたちが元気にダンスを踊りました。梅雨の晴れ間の中、学生や地域住民の方々約2,500人が来場し、キャンパスは終日にぎわいを見せました。



2017年度 学校法人関西大学 決算の概要

— 「Kandai Vision 150」の具現化に向けて —



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三

1 はじめに

2017年度決算は、常任理事会の審議を経て、理事会（2018年5月10日）で議決・承認され、評議員会（2018年5月24日）に報告いたしました。

少子化の一層の進展など、大学を取り巻く環境は一層厳しく、私立学校は合併や撤退を含めた厳しい経営判断が迫られる時代となりました。直近の日本私立学校振興・共済事業団が行った全国662の学校法人を対象とした調査では、経営困難な状態にある法人が103法人（15.6%）にのぼることが明らかになりました。

こうした時代状況に対し本法人は、社会の現状や今後の人口推移などを踏まえつつ、長期ビジョン「Kandai Vision 150」の具現化に向けて、新しい時代にふさわしい教育・研究・社会貢献を追究しています。

2018年度の第3期機関別認証評価受審に向けては、大学基準協会が定める大学基準を踏まえた自己点検・評価活動を実施し、その結果を報告書として取りまとめました。法令要件をはじめとする基礎的要件の充足状況を再確認するとともに、方針に基づく組織的・体系的な取り組みがなされているか、すなわち、「内部質保証の機能化」といった観点から点検・評価を行ったものです。また、この過程で明らかになった諸課題は、各部署と内部質保証推進プロジェクト等が連携して改善を図りました。

大学をはじめとする各設置学校がさらなる伝統を築くため、持続可能な経営基盤の確立を目指し、さらなる努力を重ねてまいりますので、みなさま方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 事業の概要

2017年度に実施した事業のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動

ア アクティブ・ラーニングを促進する教育プログラムの展開

教育開発支援センターでは、2014年に採択された文部科学省「大学教育再生加速プログラム」の事業計画に基づき、「交渉学ワークショップ」の実施や交渉学科目および「スタディスキルゼミ（プロジェクト学習）」の開講といった、正課内外の双方におけるアクティブ・ラーニングの促進に取り組みました。さらに、学生の学びを支援するLAの

育成機会を充実させるとともに、学内外へのさらなる波及を図るため、本学を「学生の学びを充実するPeer Assisted Learningを担う学生アシスタント育成のための拠点」と位置付け、同様の取り組みを展開する他大学との合同フォーラムを開催しました。

イ キャンパス内における異文化理解・共修環境の整備

2017年4月、Mi-Room (Multilingual Immersion Room) は、異文化交流・国際体験・語学学習ができる自立学習の場としての機能をさらに拡充してリニューアルオープンしました。担当教員とGTA (Global Teaching Assistant) によるLunchtime English Discussionや英語発音クリニックをはじめとした各種セッション参加者も増え、年間利用者は、2016年の約2.8倍である6,677人となり、ますます学生の利用が進んでいます。また、日本人学生と外国人留学生が参加する各種国際交流アクティビティや、小・中学生との交流活動などを学内外で多数実施し、国際交流の機会を提供しています。



【Mi-Room学習風景】

ウ 法政大学、明治大学、津田塾大学と連携協定を締結

国内の大学との活発な相互交流を推進するため、2017年4月18日に津田塾大学と、9月25日には法政大学・明治大学と、それぞれ連携協力協定を締結しました。

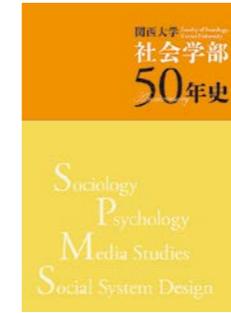
津田塾大学とは、2012年に共同採択された文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」を軸として、ライティング／キャリア支援体制の構築をテーマに連携を深めてきました。また、法政大学、明治大学と本学は、「日本近代法の父」と呼ばれるボアソナードに薫陶を受けた若き法曹家たちにより1880年代に法律学校として設立されたという共通点があります。これらにより、連携協定を締結した国内大学は17大学となりました。今後は、大学間連携活動を通じて、教育・研究をはじめさまざまな分野において一層の進展を目指していきます。

エ 社会学部創設50周年記念事業の実施

2017年4月に学部創設50周年を迎え、50年の歴史の集大成として『関西大学 社会学部50年史』を発行しました。「人と社会をみつめて」をテーマとした記念事業として、多数の学術講演会、シンポジウムを開催するとともに、2017年10月28日には大学関係者、学外関係者ならびに社会学部OB・OGを招いて記念式典を挙行政、盛会裏に終了しました。



【人と社会をみつめて
— 関西大学社会学部50年のあゆみ —】



【関西大学社会学部50年史】

オ 政策創造学部創設10周年記念事業の実施

2007年4月に開設した政策創造学部は、2017年度に学部創設10周年を迎え、数々の記念講演会や「大阪-現代都市問題の課題と展望」と題した記念シンポジウムを開催しました。記念シンポジウムでは、貧困をテーマにした第1部の基調講演を受け、第2部のパネルディスカッションでは活発な議論が展開されました。これらの記念事業の概要や本学部の10年間の歩みなどについては、今後、記念誌として発行する予定です。



【政策創造学部創設10周年記念シンポジウム】

カ 梅田キャンパス事業の展開

次代を担う起業・創業者を育成支援するため、株式会社関西TSUTAYAと業務提携してスタートアップカフェ大阪を運営し、個別相談をはじめ各種啓発イベントを257件実施し、延べ3,731人が参加しました。2017年度の相談件数は972件で、開設以来事業として32件の起業・創業者が実現し、うち1件は本学学生（システム理工学部4年次生）によるものです。このほか、短期間でアイデアや技術開発を競うハッカソンやアイデアソンをANA（全日本空輸）やNASA（アメリカ航空宇宙局）などと協同して開催したのをはじめ、プロジェクトのファシリテート技術や課題開発・解決能力を涵養する取り組

みを外部専門機関と連携し、延べ11件開催し、延べ580人の参加がありました。

また、スタートアップカフェ大阪は近畿経済産業局の女性起業家応援プロジェクト「LED関西」の公認サポートデスクとしても活動し、2017年度ファイナリスト（最終優秀者）12人中7人を輩出したことからサポーター賞を受賞しました。

なお、これまでの梅田キャンパスのスタートアップ支援の取り組みが評価されて、経済産業省・中小企業庁の「2017年度創業機運醸成賞」を受賞しました。

キ 文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の推進

「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等を重点的に支援する事業です。

2017年度は、内田慶市東西学術研究所長・外国語学部教授をリーダーとする「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究」事業が、S区分（5段階の最上位）の評価を受け選定されました。長年にわたり蓄積してきた学術リソースを基盤に、東アジア文化研究のオープン・プラットフォームを形成し、人と世界に開かれたデジタルアーカイブを構築し、卓越研究である「世界的な東アジア文化研究を牽引する関西大学」をもとに本学の研究ブランドを社会にアピールします。

また、2016年度に選定された大矢裕一医薬連携研究センター長・化学生命工学部教授をリーダーとする「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」は、松田武久九州大学名誉教授を招いて「バイオマテリアルが拓く組織再生への道」と題した基調講演を行うとともに、研究内容を紹介するシンポジウムを開催するなど、研究活動と事業展開活動ともに順調に進捗しています。

ク 就職状況・キャリア形成支援について

2017年度就職環境は、前年度以上に「売り手市場」の傾向が強くなり、学生にとっては大変恵まれた環境となりました。多くの業界では、景気の緩やかな回復に伴って採用意欲が高まり、人材確保のために内定を出す時期を早める企業が続出しました。そのような中、2月には「業界研究セミナー」を、就職活動が本格的にスタートする3月には「企業研究セミナー（171社）」および「合同企業研究セミナー（580社）」を実施しました。また、近年の採用活動において重視される傾向にあるSPIなどの筆記試験対策として「就職模擬試験」の無料受験の機会を年2回提供しました。多くの企業から内々定が出される6月以降についても、合同企業セミナーや時期に応じたさまざまな支援プログラムを実施し、最終的に本学学生の就職率は前年度比0.3%増の98.4%となりました。

エクステンション・リードセンターでは、英語、公務員、司法、会計職、SPI試験対策、そのほか資格講座など合計13講座を開講し、受講生は年間延べ3,908人となりました。また、2016年度に米国UCLAのExtensionと部局間協定を締結し、2017年度夏期から同Extensionが提供するオンライン講座を社会人対象に開講しました。受講者からは高い評価が示され、今後対象を本学学生にも拡大します。

(2) 教育研究環境の整備充実関係

ア 「千里山東体育館建替工事」の実施

村野藤吾により設計され、1963年に竣工した千里山東体育館は、構造躯体の老朽化が著しいことから、建替工事を実施しました。

「キャンパスの歴史を継承し、次代をリードする新アリーナ」をコンセプトとした「千里山東体育館」は、地下1階地上3階建・延床面積約7,000㎡で、2018年3月に竣工しました。地下1階は器械体操練習場、1階はATルーム・部室16室・防災備蓄倉庫、約1,300冊を配架したスポーツ図書コーナー、2階はアリーナ(バスケットコート3面、バレーコート3面、バドミントンコート12面)・フィットネススタジオ、3階は240席の観覧席を設け、空調設備を完備しています。

また、「レジリエンスキャンパス構想」の一環として、災害時には避難施設として活用できるよう、防災備蓄倉庫やガスコージェネレーションを設置し、停電時も非常用電源により照明・トイレ・温水シャワーを使用できるようにしました。



【千里山東体育館】

イ 「レジリエンスキャンパス構想」の進捗

本学では、南海トラフ巨大地震の防災対策推進地域に指定されている吹田市と、包括連携協定および防災協定を締結しています。

上記の千里山東体育館のほか、尚文館では、大型ガスコージェネレーション設置により、重要インフラのひとつであるITセンターのサーバーの非常用電源を供給する工事を行いました。併せて災害時には尚文館3階以上の照明・トイレが使用できるようにしました。

今後も、災害時にはキャンパスが一時避難所として、学生・生徒等だけでなく周辺地域住民も受け入れることができるよう整備を行っていきます。

3 収支計算書

学校法人は、文部科学省令の「学校法人会計基準」に基づき、財務計算に関する下記の計算書等を作成することになっています。

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。資金の動きのすべてが計算の対象となります。

「事業活動収支計算書」は、学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点(決算日)における資産、負債、純資産の財政状態を示すものです。

「財産目録」は、「貸借対照表」を基準にして組み替えて作成したものです。「監査報告書」には、私立学校法第37条第3項第3号に基づく監事

による「監事監査報告書」および私立学校振興助成法第14条第3項に基づく監査法人による「独立監査人の監査報告書」があります。

ここでは紙幅の関係上、計算書類の総括表のみ掲載しておりますが、「関西大学ウェブサイト」に財産目録などの詳細な財務情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

【URL:http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/】

4 収支決算の概要

(1) 資金収支決算

2017年度資金収支決算は、16ページに掲載の「資金収支計算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、566億1,173万2,043円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出を含め、575億3,708万8,835円となりました。この結果、収支差引き9億2,535万6,792円の支出超過となり、これに前年度繰越支払資金152億7,841万3,911円を合わせた結果、翌年度繰越支払資金は、143億5,305万7,119円となりました。

(2) 事業活動収支決算

2017年度事業活動収支決算は、16ページに掲載の「事業活動収支計算書(総括)」のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、教職員の人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額が19億7,047万3,453円の収入超過となり、予算に対し17億7,734万7,453円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は4億1,484万9,463円の収入超過となりました。この結果、経常収支差額は23億8,532万2,916円の収入超過となり、予算に対し18億1,514万3,916円の増となりました。これに天六キャンパス土地売却差額などの資産の売却や処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額51億844万8,416円の収入超過を加えた基本金組入前当年度収支差額は74億9,377万1,332円の収入超過となり、予算に対し24億9,773万7,332円増加しました。

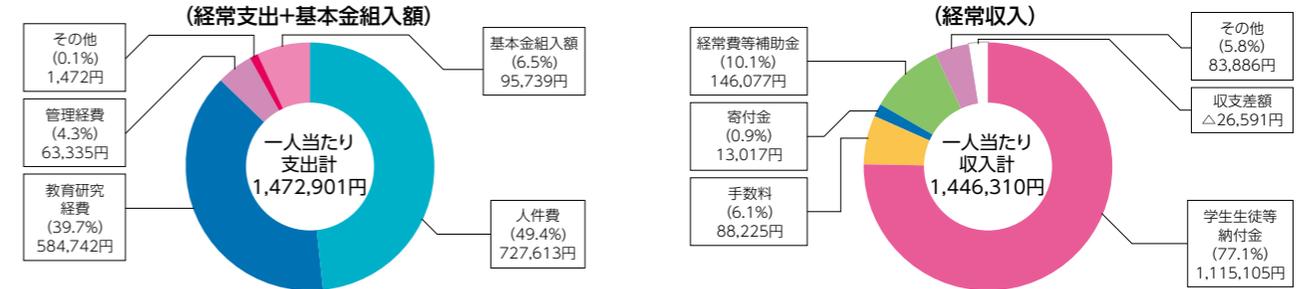
一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、33億1,126万2,062円となり、予算に対し5億8,022万8,938円の減となっています。

2017年度決算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、天六キャンパス土地売却の影響を大きく受け、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた41億8,250万9,270円の収入超過となり、予算に対し30億7,796万6,270円改善しました。この結果、当年度収支差額と前年度繰越収支差額の合計から、翌年度繰越収支差額は257億9,364万8,529円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

2017年度末(2018年3月31日)現在の資産、負債、純資産の財政状態を示しています。

2017年度 事業活動収支決算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支決算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)および収入(教育活動収入、教育活動外収入)の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数34,821人(大学院・学部・留學生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資金的支出に充てる額である。

資金収支計算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 人件費支出	25,642,307,000	25,401,676,356	240,630,644	1 学生生徒等納付金収入	38,576,068,000	38,852,515,751	△ 276,447,751
2 教育研究経費支出	15,002,693,000	14,302,529,403	700,163,597	2 手数料収入	2,686,724,000	3,068,303,588	△ 381,579,588
3 管理経費支出	2,081,860,000	2,043,187,204	38,672,796	3 寄付金収入	450,000,000	466,978,547	△ 16,978,547
4 借入金等利息支出	63,255,000	40,299,139	22,955,861	4 補助金収入	5,485,652,000	5,610,808,331	△ 125,156,331
5 借入金等返済支出	1,486,620,000	1,466,620,000	20,000,000	5 資産売却収入	4,959,775,000	5,129,476,594	△ 169,701,594
6 施設関係支出	4,454,527,000	3,990,554,591	463,972,409	6 付随事業・収益事業収入	1,113,155,000	1,154,290,028	△ 41,135,028
7 設備関係支出	1,289,582,000	1,336,962,625	△ 47,380,625	7 受取利息・配当金収入	440,308,000	455,148,602	△ 14,840,602
8 資産運用支出	4,829,954,000	7,864,320,697	△ 3,034,366,697	8 雑収入	1,227,259,000	1,256,630,090	△ 29,371,090
9 その他の支出	3,603,865,000	3,294,678,719	309,186,281	9 借入金等収入	1,000,000,000	1,000,000,000	0
10 予備費	500,000,000	—	500,000,000	10 前受金収入	6,284,973,000	6,542,669,548	△ 257,696,548
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,508,879,000	△ 2,203,739,899	694,860,899	11 その他の収入	3,815,455,000	3,575,272,849	240,182,151
12 翌年度繰越支払資金	13,360,480,000	14,353,057,119	△ 992,577,119	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 10,511,519,000	△ 10,500,361,885	△ 11,157,115
				13 前年度繰越支払資金	15,278,414,000	15,278,413,911	△ 1,083,882,043
							89
支出の部合計	70,806,264,000	71,890,145,954	△ 1,083,881,954	収入の部合計	70,806,264,000	71,890,145,954	△ 1,083,881,954

(注) 予算の流用を含む。

事業活動収支計算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 学生生徒等納付金	38,576,068,000	38,852,515,751	△ 276,447,751	1 資産売却差額	4,414,473,000	4,584,219,796	△ 169,746,796
2 手数料	2,686,724,000	3,068,303,588	△ 381,579,588	2 その他の特別収入	572,408,000	576,787,678	△ 4,379,678
3 寄付金	447,000,000	470,211,096	△ 23,211,096	特別収入計	4,986,881,000	5,161,007,474	△ 174,126,474
4 経常費等補助金	5,029,244,000	5,105,342,998	△ 76,098,998				
5 付随事業収入	1,113,155,000	1,154,290,028	△ 41,135,028	1 資産処分差額	61,026,000	49,863,000	11,163,000
6 雑収入	1,227,259,000	1,256,134,006	△ 28,875,006	2 その他の特別支出	0	2,696,058	△ 2,696,058
教育活動収入計	49,079,450,000	49,906,797,467	△ 827,347,467	特別支出計	61,026,000	52,559,058	8,466,942
				特別収支差額	4,925,855,000	5,108,448,416	△ 182,593,416
				予備費	500,000,000	—	500,000,000
				基本金組入前当年度収支差額	4,996,034,000	7,493,771,332	△ 2,497,737,332
				基本金組入額合計	△ 3,891,491,000	△ 3,311,262,062	△ 580,228,938
				当年度収支差額	1,104,543,000	4,182,509,270	△ 3,077,966,270
				前年度繰越収支差額	△ 29,976,158,000	△ 29,976,157,799	△ 201
				翌年度繰越収支差額	△ 28,871,615,000	△ 25,793,648,529	△ 3,077,966,471

(注) 予算の流用を含む。

事業活動外収支			
科目	予算	決算	差異
1 受取利息・配当金	440,308,000	455,148,602	△ 14,840,602
2 その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	440,308,000	455,148,602	△ 14,840,602
1 借入金等利息	63,255,000	40,299,139	22,955,861
2 その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	63,255,000	40,299,139	22,955,861
教育活動外収支差額	377,053,000	414,849,463	△ 37,796,463
経常収支差額	570,179,000	2,385,322,916	△ 1,815,143,916

(注) 予算の流用を含む。

貸借対照表 2018年3月31日

資産の部				純資産の部			
科目	2017年度末	2016年度末	増減	科目	2017年度末	2016年度末	増減
固定資産	209,048,774,842	203,621,946,779	5,426,828,063	基本金	220,777,971,677	217,466,709,615	3,311,262,062
有形固定資産	118,235,247,341	119,211,042,238	△ 975,794,897	第1号基本金	197,290,716,851	194,020,016,743	3,270,700,108
特定資産	87,988,332,389	80,720,781,389	7,267,551,000	第2号基本金	100,000,000	100,000,000	0
その他の固定資産	2,825,195,112	3,690,123,152	△ 864,928,040	第3号基本金	19,974,254,826	19,960,692,872	13,561,954
流動資産	16,609,404,168	17,747,685,200	△ 1,138,281,032	第4号基本金	3,413,000,000	3,386,000,000	27,000,000
資産の部合計	225,658,179,010	221,369,631,979	4,288,547,031	繰越収支差額	△ 25,793,648,529	△ 29,976,157,799	4,182,509,270
				翌年度繰越収支差額	△ 25,793,648,529	△ 29,976,157,799	4,182,509,270
				純資産の部合計	194,984,323,148	187,490,551,816	7,493,771,332
負債の部				負債及び純資産の部合計	225,658,179,010	221,369,631,979	4,288,547,031
固定負債	19,490,161,068	20,383,615,572	△ 893,454,504				
流動負債	11,183,694,794	13,495,464,591	△ 2,311,769,797				
負債の部合計	30,673,855,862	33,879,080,163	△ 3,205,224,301				

学部・研究科ピックアップ

法学部／法学研究科

何のために法律学を学ぶのか

新入生歓迎行事として、大阪市西成区を拠点に弁護士として活動する遠藤比呂通氏の講演会を開催。憲法研究者でもある遠藤氏は、社会における差別や不当な扱いを解消するために、憲法訴訟を通じて国に働きかけてゆくことの重要性を説きました。これを聞いた新入生の皆さんが、社会をより良くするという高い使命感を持って法律学を学ぶことを願うとともに、法律学研究者もまた、単に知性の優越性を競うためではなく、真に人々に貢献しうる学問を追求すべきだと改めて自らを戒めています。

(副学部長 西平等教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

海外での研究発表

毎年、多くの大学院生たちが、教員と一緒に海外の学会などへ研究発表に出かけています。北京外国語大学、国立台湾大学、韓国の嶺南大学、ローマ大学、ベルギーのルーヴェン大学、スイスのチューリッヒ大学、プラハのカレル大学などが主な訪問先です。研究のための海外旅行は、世界の人々や文化との出会いで、国際感覚を身に付けるのに最適だと思います。グローバル化が進む世界で、大いに羽ばたいてほしいというのが教員たちの願いです。

(中谷伸生教授)

経済学部／経済学研究科

新入生歓迎特別行事を開催しました

新歓行事特別講演会「あなたの手は誰かの翼」の講師、一般社団法人 ata Alliance 代表 中岡亜希氏をお招きしました。車いすの必要な方が家族や友人と一緒にスポーツや野外活動を楽しめる仕組みを提案する事業に取り組まれている中岡さんから大学4年間、いろいろなことに挑戦する勇気をいただきました。

(副学部長 菅田一教授)



政策創造学部／ガバナンス研究科

新入生合宿を開催

4月13日～14日、14日～15日、21日～22日の3日程にて、新入生合宿が高岳館で開催されました。この行事は上級生を中心に企画運営され、新入生は班に分かれて、社会で是非が分かれる争点について調査しました。1泊2日で議論した後、結果を両方の立場から報告してくれました。

(学生主任 梶原晶准教授)



外国語学部／外国語教育学研究科

リング・フランカとしての英語

世界共通語として英語を位置付ける「リング・フランカとしての英語」(English as a lingua franca, ELF)という概念が注目を集めています。日本語と構造が異なる英語の実践力を高めるには、かなりの労力と時間が必要なので、多くのことを犠牲にせねばなりません。しかし、ELFはあくまでも手段であって目的ではないので、幅広い教養と専門性がなければ、いくらELFを習得しても実践では活かせないでしょう。実践のない教養は虚しいものですが、教養のない実践も空虚です。学生の皆さんが、本当の意味でELFの使い手になって活躍されることを願っています。

(高橋秀彰教授)

人間健康学部／人間健康研究科

堺市圏ソーシャルフットボール講習会

毎年、堺市との連携事業を教員のさまざまな企画で実施しています。私はソーシャルフットボール講習会を、精神障がい者が参加するインクルーシブフットボールクラブ「Half Time」と提携し、アリーナで開催しました。スポーツを通じた障害者の地域での活動の場づくり、障害者に対する地域の理解促進を目指しています。

(黒田研二教授)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

期末試験、夏休みに向けて

春学期が始まってもう3カ月が過ぎ、7月半ばからは「到達度の確認」「春学期試験」です。試験科目数が多いので、計画的に準備して、悔いのないように乗り切りましょう。理工系3学部では、基礎科目での勉学の支援のために「学習支援室」を設けています。先輩達が相談に乗ってくださるので、遠慮なく活用してください。

試験が終われば夏休みです。春学期の生活・学習を振り返るとともに、有意義に過ごしましょう！既に予定がいっぱいの人もいるでしょうが、いろいろと思いを巡らしている人も多いと思います。2、3年次生は、卒業後の進路、自分

の適性を見極めるために、職業体験(アルバイトやインターンシップ)に取り組むのも一案です。文化の違いを知り、語学力を磨くために海外旅行などもぜひ考えてみてください。今年の募集は終わってしまいましたが、「グローバル人材育成プログラム」として2～4年次生を対象とする海外体験研修もあります。4年次生にとつては、最後の夏休みです。就職するとまず取れない長い休暇です、最後の機会を最大限に活用しましょう。

夏休みですが、大学ではいろいろな活動が続きます。8月初めには、「サマーキャンパス」や「サイエンスセミナー」があり、小・中・高校生

でキャンパスにはざわいします。また、夏季集中講義や実習授業もあります。月末には大学院の一般入試もあります。9月に入ると春学期の成績発表があり、秋学期の計画を立てることになります。また、ガイダンス、工場見学、TOEIC-IP試験など、学年ごとに幾つかの行事が予定されていることにも注意してください。

(システム理工学部入試主任 山本靖教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

KUBIC2018開催！

KUBIC(関西大学ビジネスプラン・コンペティション)が今年も開催されます。全国の高校生・大学生・一般の方々から優れたビジネスプランが応募されました。今年のコピーは「これがみち(道/未知)を開く鍵」。協賛企業、学生実行委員、教員が一体となって参加者に楽しんでいただけのイベントを展開します。本選会は10月6日(土)に千里山キャンパスBIGホール100で開催。当日ご参加いただいた方には、景品が当たるチャンスがあります。ぜひご参加ください。

(馬場一准教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

総情25周年シンポジウムを開催

2019年に創設25周年を迎える総合情報学部では、プレイベントの第1弾として、5月12日に予防歯科で注目される熊谷崇先生を迎え、「予防医療における情報の役割を考える」と題しシンポジウムを開催しました。学生や高槻市民も参加した盛大なシンポジウムとなりました。

(学部学生相談室 徳山美津恵教授)



社会学部／社会学研究科

社会人のための社会学とは？！

昨年開催された公開講座「イブニングソシオロジー～宵街社会学講座～」を、今年も「season2」として5回(4月～8月の最終水曜日)にわたり開催しています。

社会人教育の伝統を継ぐ梅田キャンパス「KANDAI Me RISE」で、一般の方に社会学に親しんでいただくためにスタートしたこの講座。昨年に引き続き、熱心な受講者の皆さんからとても良い反応と刺激をいただいています。社会人の「学び直し」の良き導入役になるべく、最後までしっかりと丁寧に進めていきたいと思います。

(大門信也准教授)

社会安全学部／社会安全研究科

社安プレゼンツのラジオ番組がスタート！

本年度から、社会安全学部プレゼンツの情報番組がスタートしました。その名も「あんぜん・あんしん・アンサンブル」。ラジオ大阪(OBC)で毎週土曜日の朝10時から、「たつをの1dayブッデイ」という番組内で10分ほど放送しています。「社安」の研究室に所属している学生(学部生・大学院生)が、さまざまなアングルから「リスク」に向き合う知恵や工夫を解説、紹介しています。時には、指導教員のすっこけ情報なども(笑)。ぜひ、ご聴聴ください。

(近藤誠司准教授)

専門職大学院トピックス

法科大学院

司法試験合格を全面サポート

本法科大学院では、司法試験合格を目指す在学生および修了生を全面サポートするため、正課授業科目の補完として、特別演習(正課外講座)を年間通じて開講しています。特別演習はアカデミック・アドバイザー(主に本法科大学院を修了した若手弁護士)が担当しており、2018年度は三つの固定クラス(未修業者基礎補完クラス、演習マスタークラスおよび司法試験論文過去問解説講座)に加え、長期休業中に実施する短期集中講座や受講生の個別のニーズに対応するオーダーメイド型クラス(特別クラス)も開講しています。

また、アカデミック・アドバイザーは「メンター」として、各学生の学習計画の立案・実行のサポートや勉強方法のアドバイス等、学習上の相談にも個別にきめ細かく対応しています。

(大住洋特別任用准教授)

併設校トピックス

関西大学第一高等学校

KKDR(関関同立生徒会交流会)開催

4月5日本校親和ホールにおいて、関関同立生徒会交流会を開催しました。



約10年ほど続いており、行事の企画運営や学校生活の充実に向けて活発に意見が交わされました。今年は、四校共同のプロジェクトを立ち上げました。

(生活指導主任 伊川敦)

他校との共同プロジェクトは関大一高としての初めての試みなので、関関同立で協力し、地域や世界の助けができるよう、考え、実現させたいです。また、その企画が長く続くように全学年で丸となってがんばってまいります。

(生徒会長 新井ひな)

Attention 大学からの重要なお知らせ

「到達度の確認」「定期試験(筆記試験)」の注意事項・受験心得

初めて試験を受ける1年次生必見！

1 学生証は必需品！

学生証がない場合は、試験を受験できません。
○紛失した場合：再発行の手続きを。
教務センター、または各キャンパス事務室にて。
○試験当日に忘れた場合：「受験許可証」の発行を。
教務センター・各舎舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室にて。

2 遅刻は厳禁！

授業も試験も遅刻は厳禁。受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるように、早めの通学を心掛けてください。

3 試験前の確認！

通常授業と教室が異なったり、同じ科目でも学籍番号によって、教室が分かれている場合があります。
○学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし消せるボールペンは使用不可)
○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。

4 不正行為には厳正に対処します！

不正行為をした場合は、春学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目も一切受験できません。また、答案の持ち帰り、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。

5 病気など正当な理由で受験できない場合は…

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認に相当する学力確認」を受けることができます(受験料1,000円)。
教務センターまたは各キャンパス事務室で手続きしてください。

6 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。
詳細は「試験システム」等で確認してください。

関大トピックス

第41回総合関戦を開催

6月15日～17日までの3日間、本学を主会場として、第41回総合関戦本戦を開催しました。総合関戦は、本学体育会と関西学院大学体育会が良き友・良きライバルとしてお互いの技術を錬磨し、親睦を深めることを目的としています。今年のスローガンは「覚悟」。これには、2つの意味が込められています。総合優勝をつかみ取るために各部が必ず1勝をあげる覚悟と、一人一人が1勝にこだわる覚悟の2つです。

昨年は、15勝17敗4分の大接戦の末、惜しくも総合優勝には届きませんでした。今年は何としても10連敗を阻止すべく「覚悟」を持って挑みました。

ホーム開催ということもあり、最終戦で、器械体操部が8年ぶりに勝利するなど、多くのクラブが勝利を積み重ねた結果、17勝15敗5分で10年ぶりに見事総合優勝を果たしました。閉会式では歓喜の音が響き、待ちに待った総合優勝に体育会全体で喜びを分かち合いました。

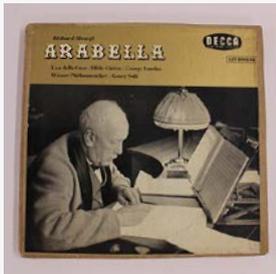


写真提供：関大スポーツ編集部

伊吹文明氏からレコード462枚と音楽関係書籍175冊を受贈

関西大学は、5月21日に元衆議院議長の伊吹文明氏から、御尊父伊吹良太郎氏が昭和初期に収集したレコード462枚と音楽関係書籍175冊の寄贈を受けました。レコードの内訳は、ドイツのクラシック楽曲を中心としたSPレコード404枚とLPレコード58枚。音楽関係の貴重な資料の寄贈を受けて、本学から同氏に感謝状を贈呈しました。

今回、寄贈を受けたレコード「伊吹良太郎コレクション」は、教育・研究活動の一環として、関西大学博物館で定期的に開催されている、蓄音機HMV193（イギリスのグラモフォン社1928年製）によるSPレコード演奏会でも演奏します。



体育会バレーボール部女子が春季リーグ戦優勝

2018年度関西大学バレーボール連盟女子1部春季リーグ戦において、体育会バレーボール部女子が創部初となる1部優勝を果たしました。

9勝2敗と2位以下を大きく突き放しての圧倒的な優勝を飾り、個人賞でも服部愛果さん（法4）が最優秀選手賞とレシーブ賞を、川西花菜子さん（人3）がセッター賞を受賞しました。

試合後「すごうれしい」と喜びを爆発させたのは、入学時からエースとしてチームの中心にいる主将の服部さん。



写真提供：関大スポーツ編集部

関大らしい“つなぐバレー”を存分に発揮し、粘り強い戦いで見事関西の頂点に立ちました。今後の活躍に期待が高まります。

関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館本館がリニューアル

セミナーハウスの一つ、関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館本館（奈良県明日香村）がリニューアルオープンし、新館と合わせて112人までの宿泊が可能になりました。周辺には、特別史跡石舞台古墳をはじめとする史跡があり、万葉文学散歩には最適な場所です。校外授業、ゼミ活動等で、ぜひご利用ください。

【問い合わせ先】教育後援会／セミナーハウス受付

【電話】06-6368-0055



関大人 四方山話 ◆「集団の意思決定はいつも個人に勝るか」システム理工学部教授 村中徳明



人間の「心」の三つの働き「知情意」のメカニズムを解明し、その情報処理技術を応用して人の役に立つコンピュータシステムを構築することが私の研究である。代表として、「脳疲労の定量化」や「漢字・数学・絵画の学習支援」等がある。この「知情意」のうち、学校で教えることは「知能（知性）」ばかりで、「感情（感性）」や「意思（意志）」は置き去りにされてきた。最近「EQ」が注目され、「感情」もかなりクローズアップされ、「意思」も周知され始めた。

そこで、「集団の意思決定はいつも個人に勝るか」という話題を取り上げる。ことわざの「三人寄れば文殊の知恵」は、集団の個人間の判定精度に近い場合に有効な教えであり、判定精度に大きな差がある場合は、平均バイアスにより互いの判定精度を正確に見積もれず、結果的にその集団内で最も優れた個人の判断にはおよばない。要するに、「意思決定の優劣はメンバー次第」ということになる。いずれにせよ、「三人寄っても下種は下種」は避けたいものである。

編集後記

かつて大学院で勉強していた頃、周りに語学の達人が何人かいました。もともとフランス文化を勉強していたけれど中国哲学に目覚め、しかもアメリカに留学したのももちろん英語も堪能、さらにパートナーは韓国人の方で家庭ではもっぱら韓国語で会話している、などといった面々です。その中の一人の忘れられない名言があります。いわく、「語学は裏切らない」。確かにその通り！語学は勉強したらその分確実に実力が身に付くし、将来どんな道に進んでも語学を学んで損することはありません。（広報委員・文学部准教授 門林岳史）



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日：2018年7月11日（年9回発行）

発行：関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話：06-6368-1121（大代表）

今月の表紙



カメラマン：文化会写真部デジタルパート 山本宗規さん（経2）
モデル：体育会本部の皆さん

こんにちは！体育会本部です。体育会本部は、関西大学全体育会の統括組織です。体育会45クラブ「KAISERS」を対象とした研修会や各種会議の企画・運営を行っています。

本部長 倉本頌太郎さん（法4） 千里山キャンパス 中央グラウンドにて撮影